

都市再生整備計画 事後評価シート(Ⅱ期)
自由が丘(Ⅱ期)地区

平成28年3月

東京都目黒区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	目黒区(めぐろく)	地区名	自由が丘地区(Ⅱ期)(じゆうがおかちくにき)			面積	76ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	101百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
	基幹事業		高質空間形成施設(カラー舗装:サンセットアレイ他、ヒロストリート、女神ストリート、九品仏川側道他)、道路(基層整備:H80-1、H85(九品仏川側道)、H85-1(九品仏川側道))								
	提案事業		まちづくり活動推進事業(南口地区まちづくり協定策定支援)、事業活用調査(事後評価調査)								
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業		基幹事業	①地域生活基盤施設(駅前情報板整備) ②-1:高質空間形成施設(回遊ルート案内板) ②-2:高質空間形成施設(路側帯のカラー舗装:緑ヶ丘小学校周辺及び緑小通り)				歩行者数の指標に関係すると思われるが、基幹事業 道路事業などの効果による増加も期待されることから、数値目標は据え置く。			
	提案事業		なし								
交付期間の変更		当初	平成23年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		提案事業 事業活用調査(事後評価調査)の実施年度を交付期間の最終年度としていることから、交付期間の変更にあわせて平成25年度から平成27年度とした。					
変更		平成23年度～平成27年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度		モニタリング	評価値				
	単位										
指標1	歩行者数	人/12h	2,600	H22	2,860	H27	5,300	○	あり	地元の街づくり会社と連携し、九品仏川側道における基層整備およびカラー舗装により、視認性や安全性の向上が図られ、高質で魅力的な歩行空間が整備されたことから、まちなかの回遊性が創出され、歩行者数が期待以上に増加した。	-
指標2	街並み誘導型地区計画の締結数	地区	1	H22	2	H27	2	○	あり	「自由が丘南口地区地区計画」は平成6年に決定されていたが、さらなる街づくりをすすめる住民の機運の高まりに合わせ、まちづくり協定策定支援を行ったことから、街並み誘導型地区計画に変更し、目標値を達成できた。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		指標	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
その他の数値指標		単位	基準年度	目標年度		モニタリング	評価値				
4)定性的な効果発現状況											
<p>・九品仏川側道のカラー舗装による歩行者や自転車の通行増については、定量的に把握できたところであるが、同時に、通勤、通学、買物などの通行に加え、保育園児や高齢者の散歩にも利用されるなど、歩行者を主とする道路としての印象が強まるとともに、利用者の多様性が高まるといった定性的な効果も確認された。</p> <p>・また、九品仏川側道に隣接する地区での、「自由が丘南口地区地区計画」の街並み誘導型地区計画への変更や、まちづくり協定策定支援へもつながるなど、住民のまちづくり意識の高まりも確認された。</p>											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング		なし								
	住民参加プロセス		<ul style="list-style-type: none"> サンセットエリア会 自由が丘南口商店会 自由が丘南口まちづくり協議会 				<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 				
	持続的なまちづくり体制の構築		<ul style="list-style-type: none"> 地元の街づくり会社株式会社ジェイ・スピリット 自由が丘のまち運営会議 街並み形成委員会 				<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 				

様式2-2 地区の概要

自由が丘地区(東京都目黒区) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
安全で快適な回遊性のあるまちづくりの推進 ・安全で快適な歩行空間整備の推進 ・魅力的なみちづくりによる街の南北を中心としたまちなかの回遊性の向上 ・住環境と商業環境が共生する自由が丘らしい街並み形成の推進	歩行者数	単位:人/12h	2,600 H22	2,860 H27	5,300 H27
	街並み誘導型地区計画の締結数	単位:地区	1 H22	2 H27	2 H27

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業(該当なし)

□提案事業:事業活用調査
事後評価調査

□提案事業:まちづくり活動推進事業
まちづくり協定策定支援(南口地区まちづくり協定)

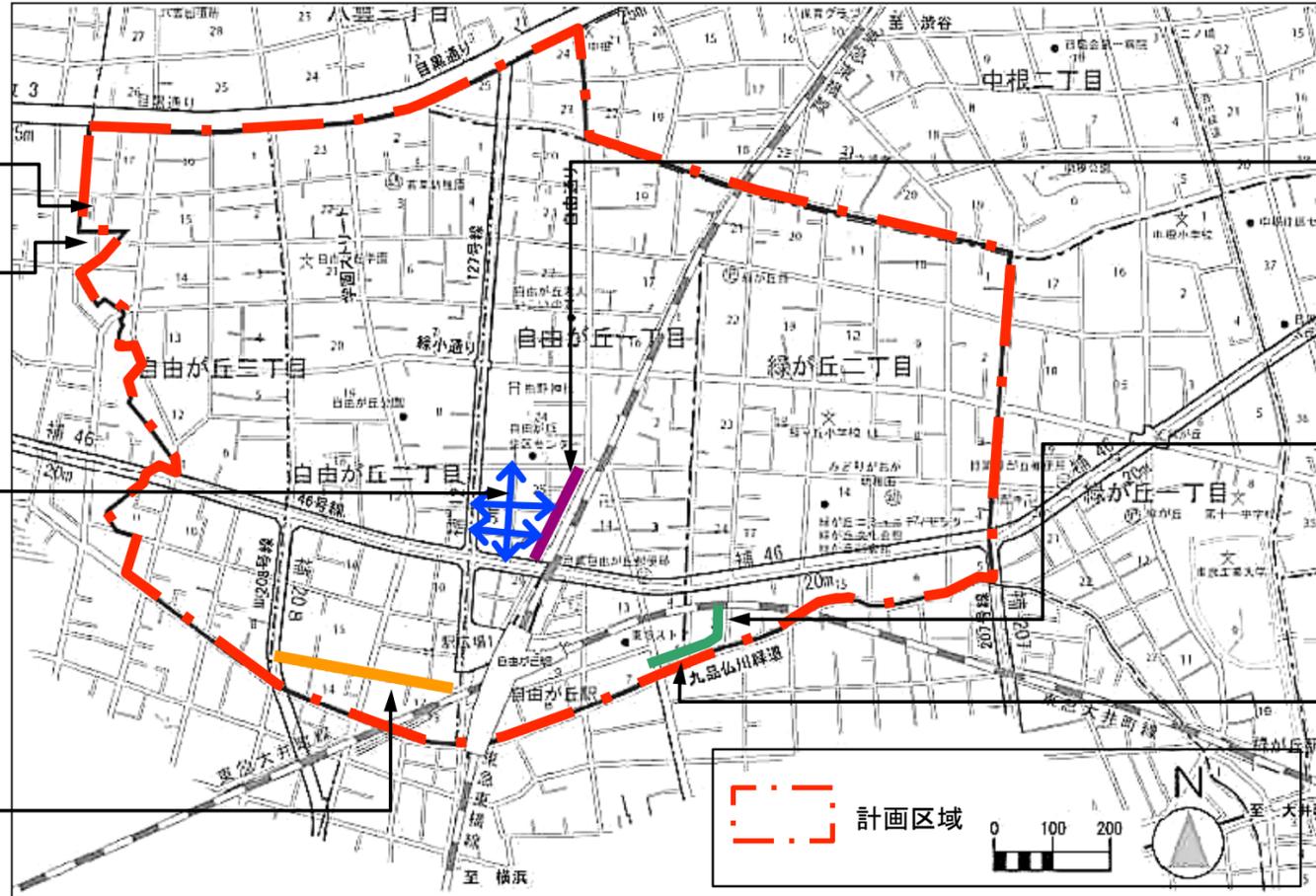
□基幹事業:高質空間形成施設

サンセットアレイ他
L=310m
(カラー舗装)



□基幹事業:高質空間形成施設

ヒロストリート
L=242.2m
(路側帯のカラー舗装)



□基幹事業:高質空間形成施設

女神ストリート
(自由が丘ひかり街前)
L=140m
(路側帯のカラー舗装)



□基幹事業:道路

H80-1,H85,H85-1
L=136.5m
(基層整備)



□基幹事業:高質空間形成施設

九品仏川側道他
L=136.5m
(カラー舗装)



まちの課題の変化

・事前の課題としていた、歩行者の安全で快適な歩行環境と回遊性の向上については、特に商業地内での道路等の高質化により改善が見られる。
・その一方で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の教訓から、多くの来街者が訪れる繁華街であることと、住宅地が取り巻くことを背景に、当該道路等を活用した避難面や、駅周辺での帰宅困難者対応等といった防災性の充実・強化が、街全体の課題として再認識されている。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

・日常の安全で快適な歩行と回遊の基盤として高質化を図ってきた商業地内の細街路は、その機能を果たしつつある一方で、その魅力の付加を図ることにより、来街性と回遊性を増幅させていくことに積極的に取り組む。
・また、近年増加する海外からの来街者を含め、多くの人々が訪れるまちとしての、ハード、ソフト両面からの防災性能の向上への取組みを支援する。
・歩行性・回遊性の向上や魅力化、防災性の確保を適切に促進するため、駅周辺の共同化等の検討を支援していく。
・区は、国際色豊かな魅力の増進と賑わいの創出を図るため、国家戦略道路占用事業の適用によるイベントを活用するとともに、地元が主体的・自主的に取り組むエリアマネジメント団体等を支援していく。
また、まちづくり計画の検討にあたっては、地元意見を積極的に取り入れるなど、地域関係団体等との継続的な連携・調整を図っていく。